

地域活性化モデルケース～超高齢化・人口減少社会における持続可能な都市・地域の形成～ 選定基準の運用方針

1 定量的評価

以下の①～⑤の選定基準について、定量的評価（A（4点に換算）～E（0点に換算））の判定を行う。

【選定基準】

① 地域活性化に向けた目標

地域活性化モデルケース(都市・地域)により、持続可能な都市・地域の形成の達成に向けた施策を展開し、地域の活性化を目指しているか。

A：地域活性化モデルケース(都市・地域)により、持続可能な都市・地域の形成の達成に向けた施策を展開し、地域の活性化を目指した提案であると極めて十分に認められる。

B：地域活性化モデルケース(都市・地域)により、持続可能な都市・地域の形成の達成に向けた施策を展開し、地域の活性化を目指した提案であると十分に認められる。

C：地域活性化モデルケース(都市・地域)により、持続可能な都市・地域の形成の達成に向けた施策を展開し、地域の活性化を目指した提案であると認められる。

D：地域活性化モデルケース(都市・地域)により、持続可能な都市・地域の形成の達成に向けた施策を展開し、地域の活性化を目指した提案であると認めるには不十分である。

E：地域活性化モデルケース(都市・地域)により、持続可能な都市・地域の形成の達成に向けた施策を展開し、地域の活性化を目指した提案であると認められない。

② モデル性

持続可能な都市・地域の形成の達成に向けて、都市・地域全体の新たな取組のシステムづくりや暮らしのあり方の改善に係る統合アプローチで取り組む先進的な取組であるか。或いは、模範・参考として同様の条件や課題を抱えた他都市・地域への、取組の波及効果が見込まれるか。

A：持続可能な都市・地域の形成の達成に向けて、都市・地域全体の新たな取組のシステムづくりや暮らしのあり方の改善に係る統合アプローチで取り組む先進的な取組であると極めて十分に認められる。或いは、その取組を模範・参考として同様の条件や課題を抱えた他都市・地域への、極めて高い波及効果が見込まれる。

- B：持続可能な都市・地域の形成の達成に向けて、都市・地域全体の新たな取組のシステムづくりや暮らしのあり方の改善に係る統合アプローチで取り組む先進的な取組であると十分に認められる。或いは、その取組を模範・参考として同様の条件や課題を抱えた他都市・地域への、高い波及効果が見込まれる。
- C：持続可能な都市・地域の形成の達成に向けて、都市・地域全体の新たな取組のシステムづくりや暮らしのあり方の改善に係る統合アプローチで取り組む先進的な取組であると認められる。或いは、その取組を模範・参考として同様の条件や課題を抱えた他都市・地域への、波及効果が見込まれる。
- D：持続可能な都市・地域の形成の達成に向けて、都市・地域全体の新たな取組のシステムづくりや暮らしのあり方の改善に係る統合アプローチで取り組む先進的な取組であると認めるには不十分である。或いは、その取組を模範・参考として同様の条件や課題を抱えた他都市・地域への、波及効果がほとんど見込まれない。
- E：持続可能な都市・地域の形成の達成に向けて、都市・地域全体の新たな取組のシステムづくりや暮らしのあり方の改善に係る統合アプローチで取り組む先進的な取組であると認められない。或いは、その取組を模範・参考として同様の条件や課題を抱えた他都市・地域への、波及効果は見込まれない。

③ 地域適応性

都市・地域の条件、特色を的確に把握し、その特色を活かした独自のアイデアが盛り込まれた取組であるか。

- A：都市・地域の条件、特色を的確に把握し、その特色を活かした独自のアイデアが極めて十分に盛り込まれた取組である。
- B：都市・地域の条件、特色を的確に把握し、その特色を活かした独自のアイデアが十分に盛り込まれた取組である。
- C：都市・地域の条件、特色を的確に把握し、その特色を活かした独自のアイデアが盛り込まれた取組である。
- D：都市・地域の条件、特色を的確に把握し、その特色を活かした独自のアイデアが盛り込まれた取組と言うには不十分である。
- E：都市・地域の条件、特色を的確に把握し、その特色を活かした独自のアイデアが盛り込まれた取組とは言えない。

④ 実現可能性

地元住民、地元企業、大学、NPO等の幅広い関係者の参加と協働を得ると共に、自治体において部署間を横断する全庁的協力体制が構築され、取組をけん引する人材育成が図られるなど取組の確実で円滑な実施が見込まれるか。目標の達成に向けた合理性のある取組が示された実現可能性の高い計画であるか。

- A：地元住民、地元企業、大学、NPO等の幅広い関係者の参加と協働を得るとともに、自治体において部署間を横断する全庁的協力体制が構築され、取組を牽引する人材育成が図られるなど取組の確実で円滑な実施の見込みが極めて高いと考えられる。目標の達成に向けた合理性のある取組と適切な排出削減の見込みが示された極めて実現可能性の高い計画である。
- B：地元住民、地元企業、大学、NPO等の幅広い関係者の参加と協働を得るとともに、自治体において部署間を横断する全庁的協力体制が構築され、取組を牽引する人材育成が図られるなど取組の確実で円滑な実施の見込みが高いと考えられる。目標の達成に向けた合理性のある取組と適切な排出削減の見込みが示された十分に実現可能性の高い計画である。
- C：地元住民、地元企業、大学、NPO等の幅広い関係者の参加と協働を得るとともに、自治体において部署間を横断する全庁的協力体制が構築され、取組を牽引する人材育成が図られるなど取組の確実で円滑な実施の見込みがあると考えられる。目標の達成に向けた合理性のある取組と適切な排出削減の見込みが示された実現可能性の高い計画である。
- D：地元住民、地元企業、大学、NPO等の幅広い関係者の参加と協働を得るとともに、自治体において部署間を横断する全庁的協力体制が構築され、取組を牽引する人材育成が図られるなど取組の確実で円滑な実施の見込みが低いと考えられる。目標の達成に向けた合理性のある取組と適切な排出削減の見込みが示された実現可能性の高い計画と言うには不十分である。
- E：地元住民、地元企業、大学、NPO等の幅広い関係者の参加と協働を得るとともに、自治体において部署間を横断する全庁的協力体制が構築され、取組を牽引する人材育成が図られるなど取組の確実で円滑な実施の見込みがないと考えられる。目標の達成に向けた合理性のある取組と適切な排出削減の見込みが示された実現可能性のない計画である。

⑤ 持続性

新たなまちづくりの概念が提示され、関係者の持続的な参加、取組の波及、次世代の人づくりを促す方策が示され、取組の評価・改善の仕組みが組み込まれており、取組の持続的な展開が期待できるか。

- A：新たなまちづくりの概念が提示され、関係者の持続的な参加、取組の波及、次世代の人づくりを促す方策が示され、取組の評価・改善の仕組みが組み込まれており、取組の持続的な展開が極めて強く期待できる。
- B：新たなまちづくりの概念が提示され、関係者の持続的な参加、取組の波及、次世代の人づくりを促す方策が示され、取組の評価・改善の仕組みが組み込まれており、取組の持続的な展開が強く期待できる。
- C：新たなまちづくりの概念が提示され、関係者の持続的な参加、取組の波及、

次世代の人づくりを促す方策が示され、取組の評価・改善の仕組みが組み込まれており、取組の持続的な展開が期待できる。

D：新たなまちづくりの概念が提示され、関係者の持続的な参加、取組の波及、次世代の人づくりを促す方策が示され、取組の評価・改善の仕組みが組み込まれており、取組の持続的な展開が期待できると言うには不十分である。

E：新たなまちづくりの概念が提示され、関係者の持続的な参加、取組の波及、次世代の人づくりを促す方策が示され、取組の評価・改善の仕組みが組み込まれており、取組の持続的な展開が期待できるとは言えない。

⑥ 評価指標等の設定

地域活性化モデルケース(都市・地域)の取組においては、プロジェクトマネジメントが重要であり、PDCA サイクルを着実に回す必要がある。

従って、地域の将来像(ビジョン)に向けた取組の進捗状況を的確に把握できるよう、取組内容に応じた評価指標等が設定されているか。

A：地域の将来像(ビジョン)に向けた取組の進捗状況が的確に把握できるよう、取組内容に応じた評価指標等が極めて適切に設定されている。

B：地域の将来像(ビジョン)に向けた取組の進捗状況が的確に把握できるよう、取組内容に応じた評価指標等が適切に設定されている。

C：地域の将来像(ビジョン)に向けた取組の進捗状況が的確に把握できるよう、取組内容に応じた評価指標等が設定されている。

D：地域の将来像(ビジョン)に向けた取組の進捗状況が的確に把握できるよう、取組内容に応じた評価指標等が設定されているが不適切である。

E：地域の将来像(ビジョン)に向けた取組の進捗状況が的確に把握できるよう、取組内容に応じた評価指標等が設定されていない。

2 定性的評価

募集要領の趣旨・目的等に照らして特筆すべきことがあれば、定性的評価を行う。

地域活性化モデルケース～超高齢化・人口減少社会における持続可能な都市・地域の形成～
 選定評価表(評価項目と評価・採点方法)

1. 事務局

評価項目	評価・採点方法	評価・採点の視点
応募提案に求められるもの		
1) 所定の様式による提案である	○×	・所定の様式による提案であるか
2) 応募主体が募集要領に基づくものである	○×	・応募主体が、募集要領Ⅲ「応募主体」に基づくものであるか

2. 政策対応チーム及びワーキングチーム

評価項目	評価・採点方法	評価・採点の視点
選定基準(提案の視点)		
① 地域活性化に向けた目標	A～E	地域活性化モデルケース(都市・地域)により、持続可能な都市・地域の形成の達成に向けた施策を展開し、地域の活性化を目指しているか。
② モデル性	A～E	持続可能な都市・地域の形成の達成に向けて、都市・地域全体の新たな取組のシステムづくりや暮らしのあり方の改善に係る統合アプローチで取り組む先進的な取組であるか。或いは、模範・参考として同様の条件や課題を抱えた他都市・地域への、取組の波及効果が見込まれるか。
③ 地域適応性	A～E	都市・地域の条件、特色を的確に把握し、その特色を活かした独自のアイデアが盛り込まれた取組であるか。
④ 実現可能性	A～E	地元住民、地元企業、大学、NPO等の幅広い関係者の参加と協働を得ると共に、自治体において部署間を横断する全庁的協力体制が構築され、取組をけん引する人材育成が図られるなど取組の確実で円滑な実施が見込まれるか。目標の達成に向けた合理性のある取組と適切な排出削減の見込みが示された実現可能性の高い計画であるか。
⑤ 持続性	A～E	新たなまちづくりの概念が提示され、関係者の持続的な参加、取組の波及、次世代の人づくりを促す方策が示され、取組の評価・改善の仕組みが組み込まれており、取組の持続的な展開が期待できるか。
⑥ 評価指標等の設定	A～E	地域活性化モデルケース(都市・地域)の取組においては、プロジェクトマネジメントが重要であり、PDCAサイクルを着実に回す必要がある。従って、地域の将来像(ビジョン)に向けた取組の進捗状況を的確に把握できるよう、取組内容に応じた評価指標等が適切に設定されているか。
①～⑤の総合的な評価	上記評価項目の総得点 A: 4点 B: 3点 C: 2点 D: 1点 E: 0点	-
定性的評価	募集要領の趣旨・目的等に照らして特筆すべきことがあるか	